



Shikoku
Cancer Center News
No.79

四国がんセンター ニュース



2022
7
July

基本理念 患者さんの立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。



(今治市波方町 撮影：俊野 健治)

ご挨拶とこれからの四国がんセンター

4月に着任致しました大西と申します。私の看護師としてのスタートは堀之内時代の四国がんセンターです。そこで、患者さんと同じ目標に向かってみんなで取り組む大切さを学ぶとともに、「患者さんが必要としている時に、必要としている看護を、必要としている方法で提供できる看護師でありたい」と思うようになりました。縁があり、高知→福山→愛媛→高松と転勤を重ねても「看護は大変！だけど面白い」と言えるのは関わっていただいた人々のおかげです。今、20年ぶりの四国がんセンターは医療の進歩、時代の変遷、地域の期待とともに変わり、がんの予防から早期発見、最先端の治療、そしてがんと共に生きる人々を支える看護が実践できる素敵な病院になっていました。その挑戦に終わりではなく、新型コロナウイルスの蔓延が長期化する中、がん治療中の方が感染した場合の感染症に対する備えを厚くし、安心してがん治療が継続できる体制を整えていくことになりました。R4年7月、がん診療の現状継続を軸に、新たなスタート【新型コロナウイルス感染症対応病室(エリア)の確保、女性専用病棟を男女混合病棟に変更、地域包括ケア病

棟の発展的解消】です。当院に関わる人々に影響を与える重大事案であり、もちろん不安はあります。しかし、「当院らしく、よりよい方向に発展している」と思えるのは、「①当院の理念に基づく方針である②今までも時代や地域の要請に応じて変化してきた実績がある③地域の人々と共に歩んできた歴史がある④よりよい医療(看護)を目指す職員がいる⑤山下院長のリーダーシップのもと話し合える病院である」からです。今回の取り組みががん専門病院としてあるべき姿であると思っただけのよう、ワクワクしながら職員と共に取り組んで参ります。そのための私の役割は、職員一人ひとりが日々の患者さんやご家族との看護の積み重ねを大事にしながら、成長していける環境づくりだと考えています。そして、コロナ禍だからこそ、より一層、地域の皆様や、他の施設の方々との繋がりを大切にしていきたいと考えます。よろしくお願い申し上げます。



(看護部長 大西 玉美)



がん治療

最前線

排尿ケアチームの誕生

今回は、排尿ケアチームの活動について紹介します。

排尿ケアチームは、泌尿器科医師、排尿ケアに関する研修を受けた専任の看護師、理学療法士で構成されます。内服治療が必要な場合には薬剤師にもメンバーに入ってもらいます。何をしているかと言えば、排尿が問題なくできるようにチームでサポートする、ということになります。この排尿自立支援の目的は、尿道留置カテーテルを一日でも早く抜去し、尿路感染を防止すること、排尿自立の方向に導くことです。普通であれば、排尿は意識することなく自力で完結していますが、骨盤内手術（直腸や子宮など）では、手術後に排尿状態が悪化し自力で排尿できなくなることがあります。特に泌尿器科では前立腺や膀胱の手術後に、尿失禁や排尿障害がほぼ必発し、大きな問題となります。このような患者さんに、排尿ケアチームがサポートを開始しました。排尿自立により、患者さんのQOL向上はもちろん、入院期間の短縮、ひいては医療費削減につながります。

対象となる患者さんは、尿道留置カテーテル抜去後に失禁や尿閉がある方、手術後の排尿障害がある方、尿道留置カテーテル抜去後に失禁や尿閉が予想される方などです。そういう方々の排尿障害の原因を判断し、改善への提案を行うことがチームの活動となります。排尿障害は、尿をうまく出せない「排出障害」と尿をうまく溜められない「蓄尿障害」に大別でき、それぞれで原因となる疾患が異なります。排出障害には、前立腺肥大症、神経因性膀胱（脊髄疾患、脳血管疾患、糖尿病など）、重度の骨盤臓器脱（膀胱瘤、子宮脱）、骨盤内臓器の手術後（直腸がん、婦人科がん）などがあります。一方、蓄尿障害には、過活動膀胱、神経因性膀胱、肥満などの生活習慣病、間質性膀胱炎、軽度の骨盤臓器脱、膀胱炎、膀胱結石などがあります。このような原因の評価に基づき病棟の看護師等と共同して、排尿自立に向けた包括的排尿ケアの計画を策定します。包括的排尿ケアの内容は、看護師等による排尿誘導や生活指導、必要に応じ理学療法士等による排尿に関連する動作訓練、医師による薬物療法等を組み合わせた計画となります。

排尿自立支援は入院だけで完結しないこともあります。退院後に外来において引き続き、包括的排尿ケアを実施する必要性を認めた場合には、外来看護師と共同し、入院中から退院後の外来まで一貫したケアが実現されるようにしなければなりません。現在当院では、泌尿器科の入院患者に対して手術後に排尿ケアチームがサポートしています。今後は骨盤内手術を受けられる患者さんはもちろん、尿道留置カテーテルが挿入された患者さんすべてにサポートできるよう取り組みを広げていく予定です。

（統括診療部長 橋根 勝義）



消化器内科では、食道・胃・小腸・大腸・肝臓・胆道・膵臓の「がん」や消化管間質腫瘍などの消化器腫瘍の診断と内科的治療を担当しております。現在、計14名の医師で役割分担し診療を行っております。今回はがん薬物療法の診療について紹介したいと思います。

消化器領域の切除不能ながんに対しての薬物療法は、この数年間で大きく進歩しています。まずは「免疫チェックポイント阻害薬」です。はたらきが弱くなっている自身のリンパ球を再び活性化させてがん細胞を攻撃させる薬剤で、食道・胃・肝臓、および一部の小腸・大腸・胆道・膵臓の「がん」で使用できます。この薬剤の効果で長期予後が改善される患者さんが増えてきています。次に「がんゲノム医療」です。がんは様々な要因により生じた遺伝子の変異（変化）が原因で起こる病気です。その遺伝子の変異は患者さん一人一人で異なります。がんの発症に関連した数十～数百種類の遺伝子を網羅的に調べ、患者さんの治療や診断に役立てる医療を「がんゲノム医療」と言い、それに用いる検査を「がん遺伝子パネル検査」と呼びます。標準的な薬物療法の効果がなくなった時に、この検査を行うことで患者さんに適した治療薬が見つかる場合があります。

当科では、更なる治療に結び付けるために新規治療薬の治験を多数行っております。是非、ご相談ください。

（がんゲノム医療センター部長 仁科 智裕）



エキスパートナース・メディカルスタッフ

EXPERT NURSE・MEDICAL STAFF

Part.55

ドクターズアシスタント(DA)

近年、多くの病院で医師事務作業補助者が活躍しています。当院でも、ドクターズアシスタント（以下：DA）という名称で30人強の医師事務作業補助者が働いています。外来で、医師の横に座ってパソコンを操作する職員を見たことがある方も多いと思いますが、それがDAです。

DAは、医師の外来補助の他、診断書等書類作成補助などを行っています。当院ではTOEICや英検で当院の定められた基準をクリアした者が、おそらく日本でも数少ないと思われる英語業務を行う英語DAとして働いています。

英語DAの主な役割は英語翻訳です。英語翻訳業務で一番多いものは、当院で参加している世界規模の治験書類の翻訳です。治験中の患者さんの経過や症状を英訳して提出する必要がありますからです。医師、治験コーディネーターと連携し、患者さんの治療がスムーズにいくようお手伝いをさせていただいています。

また、現在はコロナ禍のため数は少ないですが、海外在住だった方が来日や帰国で当院を受診されたり、海外の病院へ

転院されたりする場合の必要書類の翻訳や、患者さんが海外旅行をする際に薬の国外への持ち出しのために必要な書類の翻訳も行っています。時には、日本語が母国語でない患者さんの外来に通訳として同席させていただくこともあります。また、医師の医学雑誌への投稿や学会発表の際の英文校正を手伝うこともあります。

患者さんや医師のニーズに応えられるよう、日々英語の論文や医学ニュース等で学びながら、翻訳・通訳のスキルの研鑽につとめています。

（DA 近藤 教子）



新任医師紹介 New Physician



呼吸器内科

加藤 有加

一日一笑を目標に、仕事はきっちりがんばります！よろしくお祈りいたします。

趣味：料理・読書・スパイスカレー・書道など



消化器内科

大鶴 徹

香川大学卒業後14年ぶりに四国に戻り、感慨深いものがあります。国立がんセンター東病院、大阪大学にて修行し、当院でも引き続き肝胆膵領域の化学療法を担当させていただきます。この領域のがんは予後の大変悪いものが多く、その中でも少しでも患者様が日常を過ごす時間を作れるように治療を行っていきたくて思っております。遺伝子パネル検査から治験、臨床試験まで、多くの選択肢を患者様に提示できるよう頑張っております。

趣味：ステーキを焼くこと



消化器内科

小森 梓

初四国にわくわく、どきどきしながら来ました。早く愛媛と院内に馴染めるようにがんばります。どうぞよろしくお願いいたします。

趣味：散歩

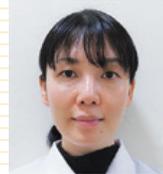


消化器外科

高津 史明

岡山大学病院より4月付で四国がんセンター消化器外科に赴任いたしました高津史明と申します。微力ながら地域に貢献できるよう努力して参りますので、何卒ご指導のほどよろしくお願いいたします。

趣味：テニス、ゴルフ



乳腺外科

河内 麻里子

4月1日より乳腺科に赴任致しました河内と申します。当院赴任前は岡山大学病院で乳がん診療やゲノム医療に携わっていました。少しでも病院、地域のみなさまのお役に立てるよう、努力する所存です。今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。

趣味：音楽鑑賞



乳腺外科

山下 美智子

4月より乳腺科に赴任致しました山下美智子と申します。松山まどな病院より赴任して参りました。それ以前は、愛媛大学乳腺センターで9年ほど勤務しておりました。引き続き、愛媛の乳腺医療に貢献できるよう頑張ります。今後ともよろしくお願いいたします。

趣味：読書、アウトドア



リハビリテーション科

近藤 宏也

4月よりリハビリテーション科に赴任致しました平成26年岡山大学卒の近藤宏也です。前任地岡山大学では大学院生として、整形外科診療と並んで腫瘍免疫微小環境の基礎研究を行っておりました。当地ではがんリハに携わり、がん治療を行っている患者様が早期に社会復帰ができるようお手伝いさせていただきます。

趣味：旅行



病理科

阿部 千恵

4月より病理科に赴任いたしました。2017年卒で、出身地は福岡県です。病院や地域の皆様のお役に立てるよう精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

趣味：落語を聞くこと



呼吸器外科

松谷 隆志

よろしくお願いいたします！

趣味：自転車・登山



消化器外科

高本 真澄

まだまだ未熟で至らないことも多いですが、よろしくお願いいたします。

趣味：手芸・読書



泌尿器

多田 航生

四国がんセンターの一員として、エビデンスに基づいた治療を心がけていきます。未熟者ではありますがよろしくお願いいたします。

趣味：ドライブ



頭頸科

相原 菜

よろしくお願いいたします。

趣味：ピアノ



頭頸科

田原 寛明

慣れない点多々あると思いますが、よろしくお願いいたします。愛媛県は初めてのなので、観光地や美味しい店などを教えていただくと助かります。

趣味：ドライブ・スノーボード・ダンス・読書など

4階リニューアル



4階の東側スペースの工事後は、医療安全管理室・看護支援室・エキスパートナース研修室が移転してきました。また、リソースナース（RN）室が新設されました。今回はこの4つのお部屋の紹介をいたします。

「医療安全管理室」

メンバー：医療安全管理係長（兼近）、
副看護師長（渡邊）

★当院の医療安全管理を行っています。
患者様・職員の安全を守るため、組織横断的に活動しています。



「看護支援室」

メンバー：がん看護専門看護師（宮脇）、
教育担当看護師長（大池）、
特定行為研修専任看護師（渡邊）

★主に看護職員の教育活動の支援を行っています。



「リソースナース室」

メンバー：感染管理認定看護師（宇都宮遼）、
皮膚排泄ケア認定看護師（宇都宮里奈）

★それぞれ専門性を発揮し、
チーム活動等、組織横断的に活動しています。



「エキスパートナース研修室」

★様々なシミュレーター等を設置しており、職員の知識・技術の向上のため、24時間使用可能な研修室です。



♪それぞれの部屋にご相談があれば、
お気軽にお越しください♪



暑い時こそ水分にご注意

水分は体内の至るところで使われていますが、特に重要なものは次の3つの働きです。

①血液の成分

水分が不足すると血液の量も減少し、血圧が低下、めまいや動悸、だるさ、脱力感などを感じるようになります。この状態を放置すると、各臓器を流れる血液の量も少なくなり、臓器の機能が低下します。

②尿の成分

尿は体内で発生した老廃物を排泄するためのものです。水分が不足すると十分な尿を作ることができなくなります。すると、体内に老廃物が蓄積し、体調が悪くなります。これを

放置すると腎不全が進行したり、腎臓以外の臓器にも重大な悪影響を与えたりします。

③汗の成分

汗は主に体温を調節するためのものです。汗は、体温が上がると、体の表面から出てきます。これが蒸発することで熱を奪い、体温を下げることができます。水分が不足すると、十分な汗を作ることができません。すると、体温が上がった時にそれを下げることができず具合が悪くなります。

水分が足りない時は、最初は何の渇きに始まり、徐々に食欲低下、意識レベル低下、呼吸・心拍数の変動など、重大な症状が出現してきます。放置すれば死に至ることもあります。特に高齢者は何の渇きに鈍感になっていることも多く、「喉が渇いた」と感じる時には相当に脱水が進行している可能性もあります。定期的な水分補給が重要です。人間は寝ている間にも「不感蒸泄」で、水分を失い続けます。寝る前と朝起きた時に湯呑1杯程度の水分補給が重要です。

（栄養管理室長 酒永）



医者のつづき リレーエッセイ



●第十九回 〆切りました

誌面の上では、そろそろ夏休み。子供の頃8月末になって『宿題は計画してコツコツやっときなさい』とか怒られたことはないだろうか？うちは放任だったのでそんな経験はない。怒られなかったからと言って間に合ったわけでもないが…まあ、子供の頃はそれでもいい。

大人になったらそうはいかない。残りが少ないのに『計画してコツコツ』なんてお題目に従って人生を浪費してる場合ではないのだ。診療に直結する病理診断関係の仕事はもともと余裕なくぎっしり詰まっているので闇雲に片付け続けなければならないが、研究等の原稿や講演の準備は〆切りまで余裕を持って事前に仕事を済ませたり、コツコツ進めたりはしないことにしている。

多くの医師は頼まれた原稿を〆切りが過ぎてから書きはじめる。医学書の寄稿原稿の超えられない本当の〆切りは〆切りの6ヶ月以上後だ。本当の〆切りはデッドラインと呼ばれ、嘘の方はそのまま呼ばれる。

私だけの話ではない。医師主体の学会では発表予定稿の〆切りは大抵2回延長される。文章物だけでなく、発表・講演の準備もギリギリが普通だ。私は大事な講演は数ヶ月前から準備していた、昔は。だんだん準備の開始が遅くなって最近では1時間の講演でも準備を始めるのは1週間前、最終的に仕上がるのは前日か当日だ。これも私だけではあるまい。

何故そうなのかというと、この業界が寝てない自慢・休ん

でない自慢・ギリギリカツカツ自慢がトロフィーとなる典型的なブラック業界だからだ。余裕を持って事前に済ませたり、コツコツと計画を立てて準備したりすると、あいた時間に別の仕事を入れてしまう。〆切り前に仕事をためていることだけが、それを阻止してくれる。だから、コツコツ計画的に〆切り前に済ませてしまうと、一生の間に一瞬の余裕もなくなってしまし、人生に何もなくなる。

書いている今は実は5月末。そこで私はもろもろの〆切りをデッドラインに送り、初夏の石手川緑地公園を1時間散歩し、特に興味はないがマンダリンパイレーツが試合をしている坊っちゃんスタジアムまで歩いて、日陰の席で実は〆切りの3日前にこのエッセイを書いている。歩いて、風を浴びて、マスクの要らないまばらなスタンドで、NPBを目指す若者達を見たり見なかったりして、一句詠む『テイゲーム 緑風なでる 頬すずし』…とりあえずこの原稿はあげられたし、他の〆切りは守れてないけど、一生のうちの一部を生き、色々なものをデッドラインまでに置くことが出来たような気がする。

初夏の石手川緑地公園の昼。政府も外で安全な時にはマスクをしないよう言っているので、まだ人目を気にして外せない人達への雰囲気作りのため、外して歩いた。…が、アップの写真が恥ずかしいので今日のところはこんな感じで。

(がん予防・疫学研究部長
寺本 典弘)



治療中の働き方に関する相談を実施しています！

～就職・就労相談状況のご報告～ 平成29年4月～令和4年5月



治療と
仕事の
両立支援

四国がんセンターは、
がん患者さんの“働きたい！”
をサポートしています。
お気軽に、スタッフまで
お声掛けください。

ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

《新しく仕事を探している方のための就職相談》

相談延べ人数 536人 就職延べ件数 113件

《仕事を続けたい方のための就労相談》

相談延べ件数 90件

相談者の
声

「病院で仕事の相談ができると思わなかった」
「話ができ、気持ちが楽になった」
「病気になった私でも、できる事があると思えた」

【お問い合わせ】がん相談支援センター TEL:089-999-1114

がんセンター ハイ!一句 俳句ポスト



作品が選ばれましたら、四国がんセンターニュースと選者発行の「俳句ライフマガジン『100年俳句計画』」(月刊誌)へ掲載します。

選者：三瀬明子(俳句ライフマガジン「100年俳句計画」発行人)



特選 青田風髪にふくませもどりたい

(お茶魔さん 63歳・女性)

青田風は、青々とした田んぼの上を吹き渡る風。そのすがすがしい風を髪に含ませて戻りたいというのです。戻りたいとは、どこにだろう、いつにだろう、誰のもとにだろう、今はそういう環境ではないのだろうか。読者の想像力を刺激し、心を揺さぶる一句です。

入選 ドクターの白衣は薬山笑ふ

(I.Fさん 94歳・女性)

ドクターの白衣をみると安心できる、薬のような存在なのだ。「山笑ふ」は、山を擬人化した春の季語。生命力に満ちた春の山との取り合わせが明るい気持ちにさせてくれます。

入選 四方の春妻と歩みし五十年

(T.Oさん 76歳・男性)

一句の中に数字が二つ、表記も楽しく巧みです。「四方の春」は、春のはじめのことで、転じて新年の意味。50年ということとは金婚式ですね。おめでとうございます。これからも末永く。

入選 桜舞う「あと一周もう一周」の退院日

(天河原さん 71歳・男性)

「あと一周もう一周」は、リハビリの歩行訓練でしょうか。退院日を目標に頑張ったのでしょうか。そればかりか、退院当日も、ぎりぎりまで頑張っている様子。エールのように、桜も舞っています。

入選 今念うなんと幸せ夏の宵

(須美さん 66歳・女性)

今思えば、あの時はなんと幸せだったかと振り返る。全ての人が共感できる一句。「な」の韻の踏み方も考えられた一句です。

入選 バーコード手首に巻かれ春を病む

(ふわりさん 62歳・女性)

患者さまの情報のバーコードつきのタグ。味気ないタグに多少のひっかかりを感じるのでしょうか。下五の「春を病む」という言い回しに、その気持ちがこめられました。

入選 窓ごしに春を感じる黄砂かな

(753Aさん 57歳・男性)

春は黄砂のせいで、埃っぽいものです。窓越しにみても、空がうっすら黄色っぽく感じられますね。その黄砂のあるやっかいな景色こそが「春」らしさなのだという発見。



皆さんの「一句」募集中

患者さんのご要望で生まれた四国がんセンターの俳句ポスト、「ハイ!一句ポスト」。大変ご好評をいただいております。設置場所は、各階エレベーター前、図書コーナー、総合案内、支援センター「向日葵」で、作品は随時募集中です。患者さん、ご家族、面会の方、職員、どなたでも気軽にご投稿ください。皆さんの「自慢の一句」「楽しい一句」をお待ちしております。



治験 CHIKEN CORNER

ちけん

「当院では治験を実施しています」

こちらは、治験・臨床試験管理室です。このコーナーでは、ただ今、募集の治験等の情報を提供しています。なお、当院HPにて、詳細情報を公開中です。

(治験主任 宮田 篤)



● 現在募集の治験等情報

下記の件数は企業治験、医師主導治験、製造販売後臨床試験の「現在募集中の治験情報」です。

- | | | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|-----------------|
| ● 肺がん ……………35件 | ● 胃がん ……………13件 | ● 膀胱がん ……………3件 | ● 固形がん ……………14件 | ● 唾液腺がん ……………1件 |
| ● 胸腺がん ……………1件 | ● 食道がん ……………4件 | ● 胆道がん ……………4件 | ● 悪性リンパ腫 ……9件 | ● 頭頸部がん ……………3件 |
| ● 悪性中皮腫 ……………1件 | ● 大腸がん ……………10件 | ● 尿路上皮がん ……2件 | ● 子宮体がん ……………4件 | ● 原発不明がん ……1件 |
| ● 乳がん ……………28件 | ● 前立腺がん ……………6件 | ● 卵巣がん ……………6件 | ● 子宮頸がん ……………3件 | (令和4年5月26日現在) |



「ノウゼンカズラ」
(愛媛県森の交流センター・東温市)
撮影：高市 瑞穂

外来診療一覧表

- 新患受付時間 7:30~12:00
- 診療時間 8:30~17:15
- 休診日：土・日・祝日及び年末年始

担当医は変更となる場合があります
のでご了承ください

四国がんセンター概要

〒791-0280
愛媛県松山市南梅本町甲160
TEL:089-999-1111
FAX:089-999-1100
https://shikoku-cc.hosp.go.jp

環境

“いで湯と城と文学の街”ここ愛媛の松山はノスタルジックあふれる城下町。当院はこの城下町の南東に位置し、東に霊峰石鎚、北に道後温泉、西に伊予灘を望み、自然に恵まれた最高の療養環境に立地しています。交通機関も伊予鉄巡回バスの運行など便を増やすことで来院も便利になりました。

今後とも患者さんの視点に立った細かな配慮を心がけ、西日本を代表する「がん専門病院」として精進いたします。

診療内容

- | | |
|-----------|--------------|
| 呼吸器内科 | 乳腺外科 |
| 呼吸器外科 | 婦人科 |
| 消化器内科 | 頭頸科・甲状腺腫瘍科 |
| 消化器外科 | 骨軟部腫瘍・整形外科 |
| 精神腫瘍科 | 形成・再建・皮膚腫瘍外科 |
| 緩和ケア内科 | リハビリテーション科 |
| ストーマ外来 | リンパ浮腫 |
| 禁煙外来 | 放射線診断科 |
| 泌尿器科 | 放射線治療科 |
| 血液腫瘍内科 | 病理診断科 |
| 感染症・腫瘍内科 | 歯科 |
| セカンドオピニオン | 麻酔科・疼痛外来 |
| 遺伝性がん診療科 | がんドック |
| がん看護外来 | 原発不明がん診療科 |

病床数 368床

当院は予約制を行っており、予約患者さんを優先しております

診療科		月	火	水	木	金	
消化器	内科	食道・胃・大腸・膵臓	梶原(化)	仁科(化)	仁科(化)	梶原(化)	○坂口
			大鶴(化)	-	大野(内)	日野(化)	小森(化)
			西出(内)	-	藤澤(内)	-	長谷部(内)
	外科	肝・胆・膵	灘野	浅木	-	-	灘野
		食道・胃	-	羽藤	-	柿下/西脇	-
	大腸	小林	落合	-	小島	★落合/小林(2週)/小島(4週)	
	肝・胆・膵	-	大田	-	御厨	-	
呼吸器	内科	○原田	二宮	○二宮	上月	原田	
		○上月	-	-	加藤	-	
	内科新患	-	○原田	○上月	加藤	○二宮	
	外科	山下(素)	上野	未久	山下(素)	重松	
	禁煙外来	-	-	-	○末久	-	
緩和ケア・精神腫瘍科		谷水(緩和)	谷水(緩和)	成木(緩和)	谷水(緩和)/落合(精神)	三浦(耕)(緩和)	
泌尿器科	【新患/予約外は午前のみ】		橋根(FAX紹介のみ)	-	橋根	-	松村
		沢田	-	松村	-	湊	
		湊	-	沢田	-	多田	
血液腫瘍内科		-	吉田	-	吉田	-	
感染症・腫瘍内科		○濱田	担当医	担当医	○濱田	担当医	
婦人科	竹原/坂井		予 婦人科医師	竹原	予 婦人科医師	大亀/藤本	
		横山	-	大亀	-	坂井	
		日比野	-	藤本	-	横山/日比野	
乳腺外科	青儀		大住	高橋(三)	青儀	大住	
		河内	高橋(三)	△大住(FAX紹介)	山下(美)	三好	
		-	○三好	-	-	-	
形成・再建・皮膚腫瘍外科		△山下(昌)	○山下(昌)	-	○中山	-	
頭頸科・甲状腺腫瘍科 (耳鼻咽喉科)	門田		○森田	門田/田原	○武田	青井	
		森田	-	青井	-	森田	
		武田/青井	-	武田	-	相原/田原	
骨軟部腫瘍・整形外科		○杉原/○近藤	△杉原/近藤	○杉原/○近藤	近藤	○杉原/○近藤	
歯科		三浦(児)/井上	三浦(児)/井上	井上	三浦(児)/古川	井上	
放射線	診断科	古川	古川	古川	井上	古川	
	治療科	菅原	桐山	清水	菅原	細川	
	予 麻酔/疼痛外来	濱本	濱本	長崎	神崎	神崎	
	首藤(聡)	原田	-	-	-	武智	
併存疾患センター	予 リンパ浮腫外来	-	○中山	-	△山下(昌)	-	
	予 リンパ浮腫ケア外来	-	リンパ浮腫ケア(自費)	-	リンパ浮腫ケア(自費)	-	
	皮膚科	藤山	藤山	藤山	藤山	藤山	
	眼科	-	○愛大医師※1	-	-	-	
	循環器内科	○倉田	△東※1	○倉田	○倉田	△船田※1	
	内分泌内科	-	-	○松原※1	-	-	
糖尿病内科	-	○川村/○羽立※1	-	-	○高門/○池田※1		
予 ストーマ外来	-	落合	○橋根	○小島	-		
予 原発不明がん診療科	-	△青儀	-	-	-		
予 セカンドオピニオン	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		
予 がんゲノム医療外来	○担当医	-	担当医	-	-		
予 遺伝性がん診療科	担当医	○山本	担当医	○山本	担当医		
予 がん看護外来	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師		
がんドック	酒井	徳永	酒井	酒井	酒井		

予…予約のみ ○…午前のみ △…午後のみ ★…奇数週 ☆…偶数週 (化)…化学療法担当 (内)…内視鏡治療担当
※診療担当は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。 ※1は院内紹介のみ

TRAFIC ACCESS 交通のご案内



車でお越しの場合

- 松山空港から車で 約45分
- JR松山駅から車で 約30分
- 松山市駅から車で 約25分

松山自動車道

- 松山インターから車で 約20分
- 川内インターから車で 約20分

電車・バスでお越しの場合

